

マンションに防災備蓄庫

札幌で分譲続々

札幌市で、マンションに防災備蓄庫を併設する分譲マンションが、続々と登場している。これは、札幌市が推進している「防災備蓄庫設置促進事業」の一環として、民間事業者が積極的に参加していることによる。この事業は、地震や火災などの災害発生時に、住民が避難する際に必要な物資を備蓄し、迅速に配布できるようにするための取り組みである。現在、市内各地でこのようなマンションが建設されており、住民の安全と安心を確保するための重要な役割を果たしている。

発電機や保存食

防災備蓄庫には、発電機や保存食が備蓄されている。これは、災害発生時に電力が供給できず、食料が不足する事態に備えるための措置である。また、備蓄庫には、飲料水や医薬品、衛生用品なども備蓄されている。これらの物資は、災害発生時に迅速に配布され、住民の生活を支える役割を果たす。また、備蓄庫には、防災訓練の場としても活用されており、住民の防災意識を高めるための取り組みも行われている。



防災備蓄庫の設置は、住民の安全と安心を確保するための重要な取り組みである。また、備蓄庫には、防災訓練の場としても活用されており、住民の防災意識を高めるための取り組みも行われている。この取り組みは、札幌市の防災体制を強化し、住民の安全と安心を確保するための重要な役割を果たしている。

絶景横目に快汗

白鳥大橋でマラソン



白鳥大橋を走るマラソン大会の様子が写っています。

白鳥大橋を走るマラソン大会の様子が写っています。この大会は、毎年開催されており、多くのランナーが参加しています。大会は、白鳥大橋の絶景を楽しむことができ、健康増進にも効果的です。また、大会には、白鳥大橋の歴史や文化に関する展示も行われており、ランナーだけでなく、観光客にも人気です。

白鳥大橋は、白鳥大橋を走るマラソン大会の様子が写っています。この大会は、毎年開催されており、多くのランナーが参加しています。大会は、白鳥大橋の絶景を楽しむことができ、健康増進にも効果的です。また、大会には、白鳥大橋の歴史や文化に関する展示も行われており、ランナーだけでなく、観光客にも人気です。

EW 100

白鳥大橋を走るマラソン大会の様子が写っています。